

広報

のあさひ

No. 270

54/5

昭和42年5月21日第3種郵便物認可



明るいあすをめざして

1, 980年代の町づくりを託す新しい選良も誕生、
住みよい町づくりのスタートです。明るいあすを
築く主役は私たち。みんなの力で確かな一歩を！

< 4月22日上郷小で・撮影安藤茂雄広報委員 >

今月の内容

- 若者はなぜ町を去るのか…………… 2
- 町政スポット・新選良誕生…………… 6
- カメラルポ・手づくりの村まつり 8
- みんなの教育・旧石器時代の郷土10
- 町民のひろば・情報室…………… 12

町を去るのか

定住をどうはかる

町ではこれまで、昭和六十年を目標にした総合開発基本計画を中心に、住みよい町づくりめざしてとりにくんできました。しかし人口流出の傾向はいぜんとして続いており、とくに活力ある町を築く核となる、若者の地元定着が思うようにすすまないのが現状です。

今月は、先に朝日分校生を対象に行ったアンケートの結果をもとに、この問題をみながら考えてみたいと思います。

朝日分校、231人のアンケート調査より

減少する 若年層

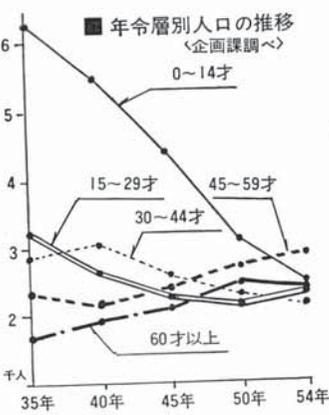
まずはじめに、町の人口構造の推移をみてみたいと思います。下のグラフは、昭和三十五年からの各年齢層ごとの推移ですが、全体的にみて高齢化が著しく進んでいることがわかります。

とくに0歳～14歳については、昭和三十五年が五、四一〇人ですが、今年は一、九一一人と五九・五割もの減少となっております。十五歳～二十九歳の青年層については、三十五年が三、一三五人に対し五十四年が二、二六七人と二七・七割も減少しています。

これは対し、六十歳以上にっ

いって二十年前で逆に、三五割の増、四五歳～五九歳は一九割増となっております。著しい対比を見せています。

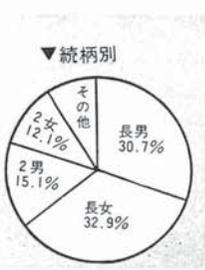
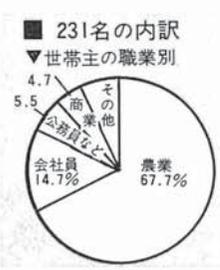
また、今春の朝日分校卒業生の進路状況をみると、卒業生百二十人のうち町内に残る人が二十三人で、町外(県内)就職が五十人、県外四十七人と町内就職者がいぜんとして少なくなっています。ただ、最近の求人状況をみると、不況のおおりで県外企業の求人数が年々減る傾向にあり、能力や個性を存分に発揮できる適した仕事が見当らなくなっているといわれています。そのため県内就職が増



え、今年の場合には六対四の割合で県内が県外よりも多いという結果になっています。

若者定住の条件整備を

生きがいある町づくりのためには、何といっても精神的な豊かさとともに経済的な基盤がなければなりません。現在町では「産業の振興による所得の向上」めざし、全力をあげてとりにくんでおり、今年度予算でも産業基盤の整備を重点に意欲的に事業をすすめています。しかし、これまで総合開発基本計画をもとにすすめてきた町づくりは一応の成果は見られたものの、先にはいぜんとして続いていることは事実です。このままでは、近い将来就業構造に空洞化を生じ町づくりに大きなマイナス要因



となることも心配されます。

私たちはここで、若者の魅力ある町づくりに必要な条件は何なのか、なぜ若者は都会に出るのかを、もう一度真剣に考えてみなければならないのではないのでしょうか。

今回のアンケート調査は、若者が定住するための条件整備をはかる上で、まず地元高校の朝日分校生の意識を知ろうと、四月二十六日学校の協力を得て、二・三年生を対象に実施。二年生百八人、三年生百二十三人の二百三十一人より回答が寄せられました。(回収率九七・一割)二百三十一人の内容としては、世帯主の職業別では、農業がもっとも多く百五十七人(六七・

若者はなせ

若い力の地元



若い労働力は産業発展に欠かせない（高校生の企業視察）

九割）で、ついで会社員三十四人（二四・七割）、商業十一人（四・七割）、公務員十人（四・三割）その他の順となっておりま
す。また、続柄別には長男が七十一人（三〇・七割）で、長女

が七十六人（三二・九割）、二男三十五人（一五・一割）、二女二十八人（一二・二割）、三男七人（三・〇割）、三女十人（四・三割）その他、となつて
います。

町に愛着を感じている“61パーセント

まず、自分が今住んでいる町に対して若者たちはどんな意識をもっているのだろうか。

Qあなたは朝日町に愛着を感じていますか？

▽非常に強く感じている…

▽全然感じていない…

一四・三割

四六・八割

二八・六割

二八・六割

一〇・三割
全体で「愛着を感じている」と答えた人は六一・一割で、続柄別では、長男六三・四割、長女五六・六割、二男六八・六割、二女四六・四割、三男一〇〇割、三女七〇割、男女別では男子六七・三割、女子五五・一割と、男子の方が愛着度は高い数字が出ています。

Qその理由は何ですか？

▽自分が生まれた町だから…

▽自然環境に恵まれている…

▽友達が多くいるから…

▽人間関係がよいから…

▽経済や文化の面で遅れている…

▽他人のことに干渉しすぎる

▽交通が不便でくらしにくい

〇…交通の便もあると思いま

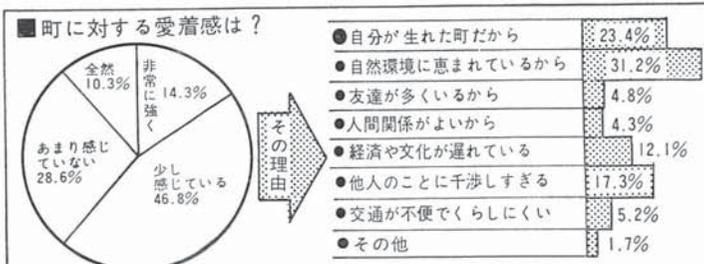
【私はこう思う】

〇…朝日町は小さな町で、他人にあまりにも干渉しすぎる気がしません。職場も少なく良い所はありません。ただ、緑に囲まれていることだけが救いがあるように思います。

（三年 女子）

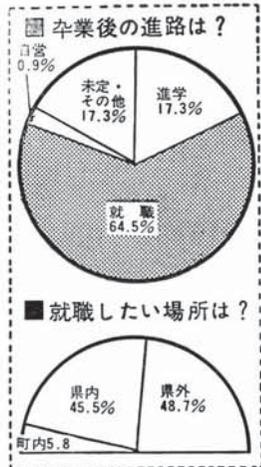
〇…経済や文化の面で遅れていて魅力のない町です。安心してくらせるようにしてほしい。

（二年男子）



すが、何といっても小さな企業が多く、私たちが生活する上で少し不安があります。もっと安定した企業を誘致していけば愛着も出てくるように思います。（三年 女子）

（二年男子）



半数が県外就職を希望

つぎに卒業後の進路については、右図のような結果になり、就職を希望する人が全体の六四・五割で、その場所として町内が五・八割、県内四五・五割、県外四八・七割と約半数が県外を希望しています。

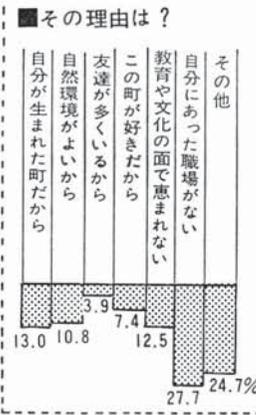
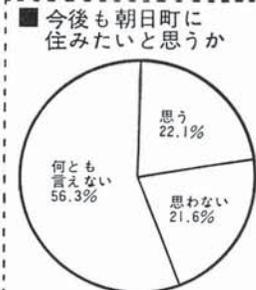
- Q その理由は何ですか？
- △家のあとつぎだから… 一九・二割
 - △自分合った職がない… 二八・二割
 - △良い職場がそろうていないから… 一四・一割
 - △一度都会に出てみたい… 一一・五割
 - △朝日町がいやだから… 六・四割
 - △町内は賃金が安いから… 五・八割
 - △その他… 一四・八割

【私はこう思う】
○：私たちがこの町に残って働きたいと思っても、適した職場が少なすぎ、仕方なく県外などに就職して働ける職場をせひつくって下さい。

町に対する要望として、安定した企業を求める声が多いのがとくに注目されます。ところで、町内の企業に対するイメージとしては、つぎのような結果が出ています。

△不安定している… 三三・〇割
△給料や待遇の面で充実している… 一・三割

△技術レベルが高く魅力がある… 一・三割
△思いえない… 二・六割
△やはり、六割強の人が良いイメージを抱いていないという結果が出ています。これについては、高校生の町内企業視察や郷土学習会、中学生の黒い土の会などで、町



この町に住み続けたい 22パーセント

内産業の生の姿を知ってもらうなど働きかけを行っているわけですが、さらに何らかの対策が必要といえるでしょう。

つぎに朝日町への定住意識はどうでしょうか。

Q あなたはこれからも朝日町に住みたいと思えますか？

△思う… 二二・一割
△思わない… 二一・六割
△何とも言えない… 五六・三割

定住を望む人と望まない人とが同じ割合になっており、「何ともいえない」と答えた人が五割強となっています。今後の町づくりへの期待と受けとめていのでしようか。

続柄別では、「思う」が長男三九・四割、長女一四・四割、二男一七・一割、二女一〇・七割で、「思わない」が長男一五・四割、長女一八・四割、二男三四・二割、二女三五・七割となっており、長男の定住意識の強さが注目されます。

この理由として図のような割合になっていますが、ここでも「自分に合った職場がない」が二八割と高率を占めています。

「喫茶店がほしい」
町づくり五割が不満

Q 現在の町づくりについてどう感じていますか？

△とても満足… 一・三割
△まあ満足… 一九・一割
△不満な点がある… 四一・一割
△とても不満… 九・五割
△わからない… 二九・一割

Q 住みよい町にするために、力を入れてほしいものは？

△生活環境の整備 二三・二割

【私はこう思う】
○：朝日町には、私たち高校生が自由に遊べる場が全然なく、暇な時間ができてもどこにも行くことができません。高校生でも入れるような健全な喫茶店をせひつくってほしいと思います。(三年女子)

○：白倉スキー場をもっと充実し、クロスカントリーコースなどもせひつくってもらいたい。また余暇を楽しめる施設や、町営喫茶店も実現してほしい。(三年男子)

○：不便な地区ほど道路整備にもっと力を入れてほしい。(二年男子)

全体的に、喫茶店や公園など若者たちが語りあえる場がないことへの不満が多いようです。魅力ある町の条件として、「緑と憩いの場」は不可欠なものとなっています。

「はたち」はこう考える

☆

成人式でのアンケートより

4月29日に開催された成人式では、実行委員が230名の参加者を対象にアンケート調査を行いました。(回収率60%)
その中からおもなものをひろってみました。

■朝日町に住み続けたいか?

(戻ってきたいか)	男	女
○はい	66.7%	35.5%
○いいえ	33.3	60.0
○わからない	0	4.5

■「はい」の理由

	男	女
○長男・長女だから	52.0%	12.5%
○この町が好きだから	32.0	50.0
○仕事の関係上	4.0	6.2
○将来性がある町だから	0	0
○その他	12.0	31.3

■「いいえ」の理由

	男	女
○仕事がない	40.0%	25.9%
○交通の便が悪い	20.0	3.7
○娯楽施設がない	0	14.8
○将来性がない	0	7.4
○買物の便が悪い	0	7.4
○その他	40.0	41.2

■これからの町づくりに望むこと

○若者向けの娯楽施設がほしい	男…25.7	女…37.7
○魅力ある職場がほしい	男…22.9	女…26.6
○工業に力を入れる	男…11.4	女…8.8
○農業基盤の充実で収入増	男…5.7	女…6.6
○観光開発	男…8.6	女…4.4
○スポーツや学習活動の施設を整備し指導者の育成を図る	男…8.6	女…2.2
○福祉、医療の充実	男…14.2	女…4.4
○その他	男…2.9	女…9.3

■結婚したい年齢は?

	男	女
○20歳	0	2.3
○21~22	11.8	17.6
○23~24	29.4	55.8
○25~26	23.5	16.0
○27~30	5.8	0
○31歳以上	5.9	0
○考えていない	23.6	8.3

■結婚相手の職業は?

	男	女
○農業	6.3	4.4
○サービス業	6.2	40.0
○公務員	9.4	28.8
○電気、ガス、水道業	0	8.8
○その他	78.1	18.0

ことしの成人式は町外からの出席も多く、盛り上がったが…



○：町の豊かな自然を絶対破壊壊しないで開発をすすめてほしいと思う。(三年男子)

▽品物が少なく、ショッピングができない。▽店員が親切で買やすい。▽品物が豊富で、ショッピングが楽しい。(三年男子)

Q 現在もっとも関心をもっていることは何ですか?

○：町の人たちは高校生を悪く見すぎているのではないのでしょうか。もっと大きな目で心で私たちを見守ってほしいのです。(二年女子)

Q 今後町が発展するには、何が必要だと思いますか?

▽農業の振興など産業基盤の整備に力を入れる：一八・七割
▽男子型の企業を誘致し働く場の増大を図る：一七・七割

▽朝日岳など大自然を生かしたレク基地、観光開発に力を入れる：三〇・九割
▽県都への道路を整備し、住宅造成などベッドタウンとして整備する：二〇割

▽大学の誘致など学園都市として整備する：四・八割
【私はこう思う】

○：町の豊かな自然を絶対破壊壊しないで開発をすすめてほしいと思う。(三年男子)

○：中規模のショッピングセンターをたて、町の特産物をもっと宣伝すべきだと思います。そのためにも人口増加をはかることが課題ではないでしょうか。(三年男子)

Q 町内の商店に対するイメージは?

▽品物がそろって充実：二・二割
▽店員が親切で買やすい：四・三割
▽品物が少なく、ショッピングができない：五九・三割
▽店員が不親切でサービスが：二・二割

Q わが町の農業は何を主体にすべきだと思いますか?

▽水稲：二六・一割
▽果樹：三二・三割
▽畜産：一〇・八割
▽養蚕：五・四割
▽特用作物：二二・二割
その他：二割

悪い：八・二割
▽他市町より値段が高いものが多い：二二・二割
【私はこう思う】

○：町内の商店で、もっと買いやすい工夫がほしいと思う。店員がずっと監視していたり無理に買わせようとするところもある。(三年男子)

○：明るい商店街づくりに力を入れてほしい。(二年女子)

Q わが町の農業は何を主体にすべきだと思いますか?

▽水稲：二六・一割
▽果樹：三二・三割
▽畜産：一〇・八割
▽養蚕：五・四割
▽特用作物：二二・二割
その他：二割

ることは何ですか?

▽進路：四六・七割
▽クラブ活動：一六・八割
▽車やオートバイ：一五・一割
▽社会情勢：六・四割
▽異性のこと：四・七割
【私はこう思う】

○：私たちからみて、町政がどのように行われ、どうなるのか全然わかりません。もっと町民に理解してもらおう手だてや、また町民の意見を反映させることが必要と思う。(三年男子)

○：町の人たちは高校生を悪く見すぎているのではないのでしょうか。もっと大きな目で心で私たちを見守ってほしいのです。(二年女子)

信頼と期待を全身にうけて

20名の新選良が誕生!

■ 投票率 96.59% に



任期満了による町議会議員の選挙が、四月二十二日町内二十か所の投票所で行われました。町民にとっても身近かな選挙だけに、告示以後選挙ムードは大きく盛り上がり、投票率九六・五九割という好成績で二十名の新議員が誕生しました。

新人三名が進出

今回の町議選には、二十名の定員に対し現職十八名、新人三名の二十一名が立候補し、激しい選挙戦を展開しました。
当日有権者数は、男子四千百三十九人、女子四千三百六十三人で計八千五百二人。一、九八〇年代の町づくりを託す私たちの代表者を選ぶ、もともと身近

かで大切な選挙だけに有権者の関心も高く、投票率が九六・五九割(前回九七・二割)と県内でも高い成績となりました。二十二日の即日開票の結果、現職十七名、新人三名の新議員が誕生。党派別では、自民十名 社会・公明・共産各一名、無所属七名で、その平均年齢は五十二歳(前回五十歳)という結果になりました。

選挙の結果

- 当日の有権者数
 - 男 4,139人
 - 女 4,363人
 - 計 8,502人
- 投票総数 (投票率%)
 - 男 5,973人 (95.99)
 - 女 4,239人 (97.16)
 - 計 8,212人 (96.59)
- 有効投票数 8,180
- 無効 " 32 (うち白票7)
- 候補者別得票数 (端数略)

氏名	年齢	党派	得票数
海野 武吉	(65)	現自	498
野 三雄	(52)	現自	484
堀 健雄	(49)	無新	452
堀 健男	(35)	無現	448
岡 一夫	(37)	無公	438
堀 健恒	(50)	無自	435
安 實治	(63)	現自	411
松 庄健	(65)	現自	410
菅 健吉	(53)	無現	405
近 正雄	(32)	共現	400
鈴 長十郎	(58)	自現	397
若 清五郎	(57)	自現	395
鈴 功郎	(39)	無新	387
白 木田	(51)	無現	372
佐 岡竹	(47)	自現	353
阿 真太郎	(58)	自現	341
鈴 次郎	(63)	自現	332
阿 天博	(61)	無自	318
鈴 正二	(60)	自現	308
清 正力	(52)	自現	306
	(43)	社現	284

さあ! つぎは 住みよい町づくり

今後四年間、新議員は全町民の信託をうけ、住みよい町づくりにめざしてとりくんでいただくことになりませんが、私たち町民はともすると「選びっ放し」で町政に無関心になりがちです。お互いにもう一度、大きな視野に立って選挙に対する認識と理解を深めたいものです。そしてこれからの町政に対し選挙時くらいに関心をもって、新議員とともにさらに住みよい町づくりにめざしとりくもうではありませんか。

県議会議員選挙

無投票で阿部、竹谷氏が当選

統一地方選挙の一番手として行われた県議会議員選挙は、三月二十七日に告示され、翌二十八日阿部武夫氏、竹谷義一氏の無投票当選が決まりました。

- ▽阿部 武夫(53) 自民 農業、新商農卒 朝日町今平一 当二
- ▽竹谷 義一(58) 自新 農業、旧盛岡高農卒 河北町谷地庚八

第三代 新議長に松田庄治氏

町議会の構成きまる

改選後初の町臨時議会がさる五月二日に開会、正副議長や各常任委員長などの選出が行われ議会選出監査委員の選任同意についてなど、五議案を審議可決して閉会しました。

鈴木前議長の後任第三代議長には松田庄治議員、副議長には長岡周真議員がそれぞれ選任され、新しい議会の構成が次のように決まりました。

●議長 松田 庄治(65歳)

朝日町立木 四二

大正三年一月十七日生

当選八回、農業

●副議長 長岡 周真(47歳)

朝日町太郎二二七ノ一

昭和六年五月八日生

当選四回、会社社長

●総務建設委員会

委員長 鈴木 正二

副 阿部 正博

●文教厚生委員会

委員長 若月清五郎

副 安藤 貢

委員 堀 敏男

委員 長岡 健一

委員 白田 重雄

委員 堀 恒夫

●産業経済委員会

委員長 鈴木長十郎

副 清野 三吉

委員 海野 武

委員 佐竹 薫

委員 堀 重雄

委員 白田 太郎

委員 長岡 健一

委員 堀 敏男

委員 安藤 貢

委員 若月清五郎

委員 堀 敏男

委員 長岡 周真

委員 近衛 正雄

委員 松田 庄治

委員 鈴木長十郎

委員 清野 三吉

委員 菅井 健吉

委員 鈴木 功

委員 堀 恒夫

委員 阿部庄次郎

委員 鈴木 吉雄

委員 菅井 健吉

委員 若月清五郎

委員 清野 三吉

委員 長岡 周真

委員 若月清五郎

委員 小林 富藏

委員 松田 庄治

委員 西村山広域行政事務組合議会

議員 松田 庄治

ことしの新区長決まる

役場と地域住民とのパイプ役として大切な役割を担う、今年度の新しい区長さんがこのほどつぎのように決まりました。

部落氏名 新任再任

本町	長岡定一郎(新)	西舟渡	小関 長寿(〃)
西町	武田 忠雄(再)	八ツ沼	佐竹 房吉(〃)
栄町	安達 寅太(〃)	能中	志藤喜司雄(〃)
助ノ巻	鈴木 貞藏(〃)	高田	長岡 幸助(〃)
大町	海野富太郎(〃)	太郎一	長岡 茂一(〃)
元町	鈴木 隆治(〃)	太郎二	相座 孝太(〃)
西原	阿部 鶴雄(〃)	太郎三	長岡 玉治(〃)
前田沢	成原 永吉(新)	石須部	長岡重次郎(〃)
新宿	熊谷小次郎(再)	立木	阿部惣五郎(〃)
四ノ沢	石塚 芳雄(〃)	白倉	阿部 勝藏(〃)
小原	菅井 善藏(〃)	松程	阿部 勝志(〃)
宿	佐藤 平吉(〃)	大舟木	鈴木 吾郎(〃)
沼沼	菅井孝三郎(〃)	今平	鈴木亦四郎(〃)
大隅	菅井 肇夫(〃)	大谷一	白田 要治(〃)
平	佐藤与右エ門(〃)	大谷二	白田 栄(〃)
古楨	渡辺 正良(新)	大谷三	高木 高一(〃)
送橋	相座 正明(再)	大谷四	田村 雅雄(〃)
下芦沢	大滝権太郎(〃)	大谷五	長岡 金一(新)
水本	岡崎三右エ門(〃)	大谷六	小野長一郎(再)
杉山	鈴木 時雄(新)	大谷七	村山政太郎(〃)
松原	長岡 正司(再)	中沢	堀 豊治(新)
宇津野	佐竹 恒男(〃)	真中	庄田 正雄(〃)
大滝	柴田 鶴吉(〃)	舟渡	遠藤 祐吉(〃)
雪谷	鈴木 博(〃)	栗木沢	遠藤 善藏(〃)
常盤	長岡 源(〃)	川通	志藤 滋男(〃)
夏草	斎藤 八郎(〃)	大暮山	川口幸次郎(新)
長沼	海野 久司(〃)	大沼	小林 岩男(再)



また、議会終了後、長い間町議会議員として町の発展に寄与され、このたび退職された方々に対し表彰状が贈られました。とくに鈴木幸次郎氏は、八期三十二年の長期にわたり、またその間十六年六月にわたって議長として町発展に尽力された功績は限りないものがあります。表彰された方は次のとおり。

大谷四 鈴木幸次郎(32年)
四ノ沢 清野 力二(20年)
元町 鈴木 幸一(8年)

鈴木幸次郎氏ら 退職議員を表彰

河北町外五市町共立伝染病院組合議員

若月清五郎 堀 重雄

安藤 貢 近衛 正雄

堀 恒夫

若月清五郎

安藤 貢



まつり

カメラリポ

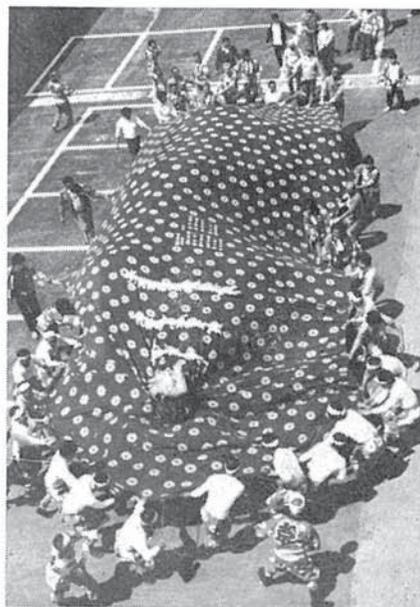
ふるさとの香り豊かに

みんなの手でむらづくりの楽しい広場を——と、町内各地で催されている村まつり。ふるさとのまつりの風情は、いつまでも心の奥深く残るものです。

さる五月三日は豊龍神社の祭典。地区民あげての手づくりのまつりがにぎやかに催されました。「少年はやし隊」の豊かな笛の音に、大獅子の舞いもはずみずみ。今月はまつりの表情をカメラで追ってみました。



前夜祭は3千人あまりの人出で大にぎわい、散りかけた桜もよみがえるよう



▶ 大獅子の舞もこの日はかりは大きくはずむ



◀ おそろいのハッピー姿で少年はやし隊のメンバーもイキイキ



育てよう手づくりの村



▲ 先人からうけついできた郷土の祭り この灯を燃し続けたいもの（松原で）



にらめっこしましょ



心のふれあいの場にも（四ノ沢で）

何を物語る古代の遺跡

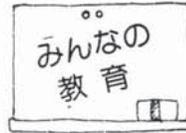
旧石器時代の郷土(上)

私たちの郷土には、いつのころから人が住むようになったのか。その昔、この地方に最初に入ってきた人びとは、どのような自然環境のなかで生きたのだろうか。石の道具を作り獣とたたかい食物をさがし、きびしい寒さにも耐えぬき、人間であるからには知恵のあリったけをふりしぼったに違いない人間文化の最初の姿を、私たちの郷土でみつげたいと思います。

朝日町の

旧石器遺跡

前のものですが、そのころから一万年前までの長い長い年代を旧石器時代と名づけています。



古きをたずねて

旧石器に至る

わが国の歴史のはじまりは、まず文字で書かれた記録によって知ることができます。奈良時代に、太安麻呂が古事記という本を作りました。今から約一、三〇〇年前のことで、それより古く、三

世紀に書かれた中国の魏志倭人伝からは、邪馬台国の古代人の生活が想像されます。

もっと昔の、文字を知らない時代にも多くの人びとが住んでいたことがわかっています。朝日町には縄文時代の遺跡がたくさんありますが、なかでも雪谷の石棒、松原の土偶は、明治のころから知られています。土の中から発見された、遺跡・遺物

(土器・石器)が当時の人びとの生活を物語っているのです。縄文時代は一万年前から二、五〇〇年前まで続きました。

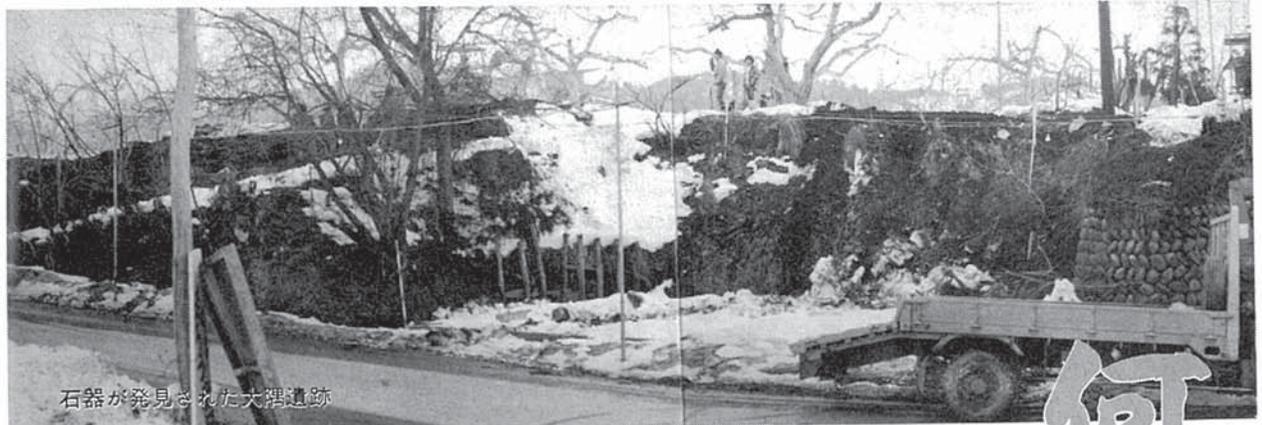
さて、そのまた昔、最も古い時代の遺物は、だいたいが原石を打ちかいて作った打製の石器です。土器はまだ作られていませんでした。ほかに人骨や動物の骨、植物の花粉、住居あと、住居の中の炉などを発見する例もありますが、めったに見つかるものではありません。

世界で最も古い石器は、アフリカで発見された約三〇〇万年

朝日町からは次の二か所から旧石器が発見されています。大隅(和合) 主な石器は、石刃、ナイフ形石刃、彫刻器とよばれるものです。年代の古さは約二万年前のものです。小松野(常盤) 舟底形石器石刃、搔器などが表面採集された所です。約一万三〇〇〇年前になります。

ほかに、沼ノ平(松程)で旧石器と考えられる石器が発掘されましたが、新石器のものと混っているために確かなことはわかりません。

石器が発見された大隅遺跡



氷河時代

だったところ

今から二万年前、氷河時代だった朝日町の自然環境に思いを回らせるならば、見渡す限りのシベリアカラマツ、チョウセンゴウ、トドマツなど針葉樹の原生林の発達した光景を目にうかべてください。オニクルミ、ハンノキ、コナラの闊葉樹の林もところどころに見られます。乾燥した大陸性の寒い気候でした。そこに棲息した動物には、狂暴な褐色熊、野牛、オオソウジカ、ノウサギ、キジなどがおり北海道にはマンモスが渡ってきました。最上川の水位は十数センチも高く水も豊かで、季節になると鮭の大群が背をあらわにしてのぼったことでしょう。

今の地形では、大隅遺跡から川のほとりまでは二五センチもある断崖になっていますが、旧石器時代には、ま近い距離だったかも知れません。ここ数万年前より今までの間に、大洪水による浸蝕には著しいものがあり、火山の活動も活発で灰を降らし地形が大きく変わったのです。

地球の気象の経過からみて、現在ほど順調で温暖な気候は、あまりありませんでした。一万年前から一〇〇万年前の洪積世

には、四回の氷河時代が訪れました。大隅に旧石器人が住んでいたところは、最後の氷期でウルム氷期といい、大変な寒さでした。氷期には、北半球では厚さが四、〇〇〇センチにおよび氷床が発達しました。ヨーロッパではロンドン・ベルリンの線（北緯五〇度）、北アメリカではニューヨークの線（北緯四〇度）まで厚い氷におおわれてしまい、それでも旧石器人は厳寒に耐え何万年も生きのびてきました。

今の朝日町の平的气温は一〇度位で、フランスのバリ、アメリカのシカゴと同じ位です。本州には氷河はありませんでしたが、今から二万年前の気温は七度位低かったようです。とすれば大隅の旧石器時代は、今のカラフトかシベリアあたり気候に似ていたと考えられます。

石のナイフを

ふるう狩人たち

大隅遺跡の代表となる石器はナイフ形石刃です。全部が頁岩という石で作られています。原石は付近にもたまに転がっているし、東北地方で石器の原料として最も多く使われる石で作った当時はひげもそれるほど鋭利だったろう。単純な形のもの



の多いが、作り方には相当の技術が必要だったようです。今の私たちがやってみてもできません。

これらの石器は何に使ったものだろうか。

石のナイフをふるって、勇敢に獣と立ち向かい、皮をはぎ肉を切ったものと考えられます。あるいは棒に取り付け、槍に使った場合もあったでしょう。木をきるにも土を掘るにも、万能の道具として使ったものと想像されます。

青銅器などの金属が使われるようになったのは、日本では二、五〇〇年前弥生式土器の時代からで、それより昔の利器といえ、石器しかありませんでした。

獣には鋭い牙と爪があります。人間は先ず石の道具を使うことによって、身体への力をも備えました。人が人であるための最初の行動が、石器を作ることだったのです。

旧石器人はどんな物を食べていたか、はっきりした証拠をみ

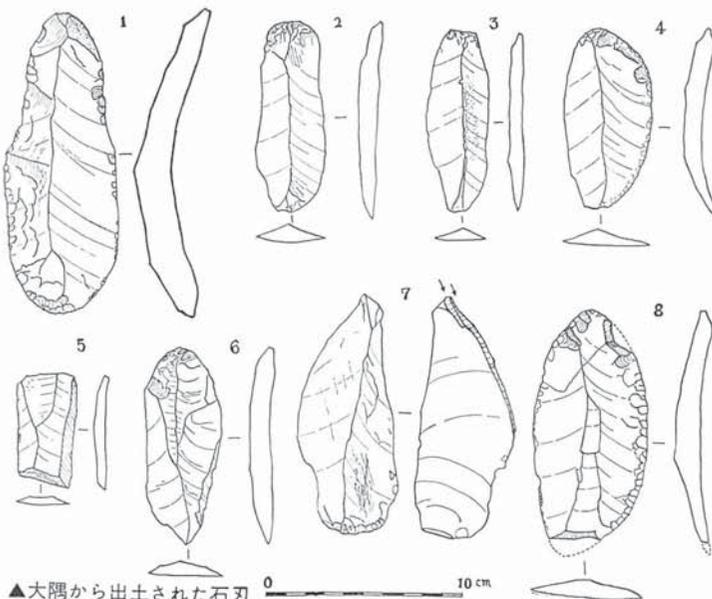
つけることはなかなかできません。これまでの研究によると、旧石器人は狩人で、もっぱら、生の肉を食べていたと考えられています。

食物を煮たり焼いたりしたのは後の時代になってからで、火は当時の寒さから身体を守るのに大切なもので、また野獣を防ぐためのものでした。

年齢三〇歳をこえる者はあまりなく、現代人の半ばにも達しない位短命でした。

旧石器時代の日本の人口は、一〇万人とも二〇万人ともいわれていますが、食料源としての獣と数の上で釣合いがとれていません。獲物の多い時は人口も増え、不猟が続けば、一族が絶えてしまうのです。

こうした自然の法則の中で、生きてきた人たちでした。



▲大隅から出土された石刃

0 10 cm



「あつ、ボクたちのバスが来たぞ！」——元気な子どもたちの歓声の中、西部保育所の通園バスがスーッと止まります。さる四月九日、西部保育所で

バスで通園楽しいナ

西部保育所にも通園バス

は待望の通園バスが発車オーライノ毎日元気一杯の園児たちを乗せて、走り回っています。この通園バスは、交通の不便な地区やバス路線のない部落から、長い間要望が出されていたもので、昨年からは中部保育所に設置して運行されていたもの。幼児三十九人、大人三人乗りの中部と同型のマイクロバスを、町が購入し父母の会が自主運行する形で、四月より西部地区全域二コースを巡回しています。これまでバス路線のない三中や松程地区では、父兄が交代で車を送迎したり、タクシーを使っていた。ある父兄は「保育は父兄負担が大きいのは当然

町民のひろば



ご意見・話題をどしどしお寄せ下さい。

—広報係—

かわいいでしょ

うちのペット

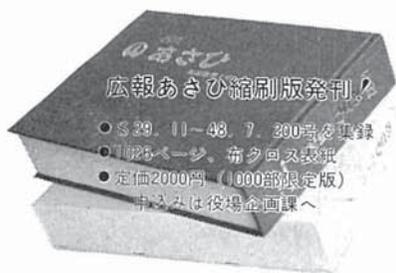
茶の間で「ピーコ」と呼ぶとピョンとびついてくるのが、何と野ウサギ。

これは送橋の渡辺太一さん方で飼っているもので、寒高に通っている弘子さん(3年)にすっかりなついています。

4月のはじめ、山の畑で見つけ飼いだめたというからもう1か月あまり。手の中で豆やリンゴをかじったり、弘子さんの後をくっついてハネ回ったり、すっかり家族の一員になりきっています。

剣道3段という弘子さんもピーコには参ったかな？

(清野正男広報委員)



あさひ 広報あさひ縮刷版発刊!

- \$29. 11-48. 7. 200号収録
 - 1冊250ページ、布夕回入録紙
 - 定価2000円 (1000部限定版)
- 申込みは役場企画課へ

ですが、毎日の送迎が何より気がかりでした。これで雨や雪の日も安心ですし、子どもたちも保育所に行くのが楽しくなつたと喜んでいきます」と語っていました。

バスの運転は朝日タクシーに委託、利用園児の父兄が添乗員として毎日交代で世話をすることになっています。

成人式

新緑さわやか はたちの集い

二百三十人が成人祝う

新緑の風かおる四月二十九日、第三十一回朝日町成人式が中央公民館で開催されました。あたたかい春の陽しさをあびながら、美しい晴れ着や新調のスーツに身をつつんだ若者たちがはつらつと集合。連休を利用して帰郷した仲間たちも含め、さわやかさあふれた式典となりました。

今年には町内二三三名、町外九七名の二三〇名(男子一〇八名、女子一二二名)が参加。まず小林町長は①社会に貢献する人物に②二十一世紀を担う国際人をめざせ③よく人の話に耳を傾けよ、など力強く激励。来賓祝辞のあと、成人代表の渡辺良君(送橋)か



あなたの庭を

緑でいっぱい

町を緑でいっぱいにしよと
ことしも緑のプレゼントが四月
二十八日、北部公民館に会場を
移して行われました。

これは、町と西村山緑化推進
委、町森林組合の共催で開かれ
たもので、苗木を無料配付し緑



豊かな明るい家庭を築いてもら
おうというもの。あいにくの雨
の中長い列をつくって待ってい
た地区民に、エンジユ、ハナミ
ズキ、カマツカなど五百本を町
長、阿部県議、岡崎組合長らが
次々に手渡し、緑を育てよう
と呼びかけました。

これからは山菜とりのシーズ
ン。タバコ火などに十分注意し
山火事を防ぎたいものです。

若手の成長に期待

☆県縦断駅伝大会

県内三百キロのコースで鉄脚
を競う、第二十五回県縦断駅伝
大会が四月二十七日から三日間
にわたってくり広げられました
十一チームが参加しての今年の
大会は、若手の健斗が光り新記
録が相つぎましたが、寒河江・
西村山チームでも総合六位にく



い込むなど、次代を担う若手の
活躍が目立ちました。

また、長沼の阿部弘美選手が
長期出場(五回)選手として表
彰をうけました。

町出身出場選手は次のとおり
今野 幸昭(西町・役場)
阿部 弘美(長沼・")
斎藤 和彦(杉山・会社員)
佐藤 吉範(大舟木・農業)
五十嵐忠一(舟渡・朝日分)
清野 和昭(古横・朝日分)

創意の結晶に科学技術庁長官賞

栄町 阿部 武さん(朝日相扶会)

第20回職域における創意工夫
コンクールで、阿部さんの

材料板を曲面に切る際、今まで

開発した「回転式連続曲面
びき治具盤」が、見事科学
技術庁長官賞に輝いた。

この作品は、木工加工で



「会社で、アイデアを出せ、
考えたらやってみると年中言わ
れているもんだから……」と照
れながらひかえ目に語る。



ら「社会人としての責任を自
覚し、町づくりに貢献してい
きたい」と誓いのことばがの
べられました。

ことしは成人代表の実行委
員たちが積極的に企画・運営
を担当、記念文集の発行やも
ちつき大会、アンケート、プ
レゼント交換、ミス・ミス
ターはたちの選出など多彩
な行事がいろいろ。青春の
一ページをかざりました。

☆はたちのひとこと

男子A「みんなよく集まっ
たなあ。なつかしさでいっ
ぱいだよ」

女子A「これからは自分の
行動に責任をもたなくちゃ
ね」

男子B「成人式は二回目。
やっぱりふるさと最高」
女子B「モチツキは楽しい
思い出になりました」



手書きをしてから加工をしてい
た工程を半自動化したものを。職
場で研磨の仕事に従事するかた
わら開発したという。

入社して六年半。この間、木
工加工機の危険防止や品質向上
のためのナイフマーク(刃形)
解消など、アイデアを生かした
工具を開発し、会社の提案賞も
数回受賞している。

「現場での悩みがアイデアに
つながると思うんです。それを
伸ばして開発する場を会社がど
んどんつくってくれますので
……」それが魅力だともいう。

「無言実行型でひかえ目だが
仕事に対する情熱は人一倍」と
は阿部社長の弁。阿部さんの翔
んでるアイデアは、これからも
技術の向上を生み続けるだろう

北部体育館完成

オープン祝い

防具開き

剣道やママさんバレーなど昔からスポーツのさかんな北部地区に、このほど地区体育館が完成。オープンを祝って四月二十八日、防具開き剣道大会が行われました。

成績は次のとおりです。

- ▽中学男子 ①鈴木昭由(大谷一) ②岡崎信二(下芦沢)
- ③清野雅紀(古楨) ③田原真彦(舟渡)
- ▽中学女子 ①吉田弘美(古楨) ②小松美幸(大暮山)
- ③阿部扶美子(栄町) ③渡辺美行(下芦沢)
- ▽小学男子 ①大谷一夫(大谷)



ちょっとたりないかな
朝日中で給食開始



「いただきまあーす!!」一日で一番元気のいい声が学校中に響きます。統合いらいの念願だった朝日中の給食がこの4月から実施。始まったばかりで慣れないせいもある、量もちょっとアンバランス。でも、とにかくおいしい?のです。

週6日のおかず給食。500食を毎日提供しているのは、朝日町農協給食センターです。

- ③志藤和彦(川通)
- ②小松光之(大暮山) ③渡辺和則(送橋)
- ▽小学女子 ①川村靖子(大谷六) ②堀恭子(真中)
- ③白田路代(大谷四) ③堀千津子(中沢)

きびきびと春の消防演習

☆消防功労者らを表彰

ことしの春季消防演習はさる四月二十五日、朝日中グラウンドで盛大に行われました。四百七十名の団員たちは早朝から続々と出勤。午前八時の演習開始宣言と同時に、観閲や人員服装の点検、機械器具の点検、模範操法など、整然と日頃の訓練の成果を披露しました。

とくに先日、助ノ巻地区で四世帯九棟が全半焼する大火災が発生したこともあり、団員たちは真剣そのもの。宮宿中央通りで行われた模擬火災訓練では、本番さながらの見事な操法を披露し、沿道からさかんな拍手がおくられました。

また、分列行進のあと役場前広場で表彰式が行われ、功労者など七十四人、十五団体が表彰されました。

- ◆消防長官表彰
元班長 長岡光一
- ◆県知事表彰
▽金条章 第一分団第一部
▽特別功労章 第一分団
副分団長 鈴木鉄男
- ▽功労章 二の四部長長岡公雄、二の一〃長岡稔、三の

◆県消防協会長表彰

- ▽優良消防団員 大久保信一 佐藤吉徳、岡崎孝、阿部雅一、海野栄一、小林幸雄、遠藤茂、武田良雄、佐竹昇

◆永年勤続表彰

- 。25年〃本部付副分団長 吉田一夫
- 。20年〃小林昭吉、佐藤昭三 小関政巳
- 。15年〃長岡公雄、佐竹庄吉
- 。10年〃堀義三郎、渡辺吉助 鈴木修一、布施雅晴、佐藤吉徳、柴田一男、東海林利昭、古川征一、海野栄一、佐竹茂美、阿部功一、鈴木善男、小野昇一郎、和田信由、白田幸輝、長岡良一、菅井勝良、長岡孝一、長岡久一、阿部和夫、鈴木秀美 阿部昭三、阿部満弘、白田文男

。一般協力団体 大谷自衛消防隊(白田栄一隊長)

- ▽消防長官表彰
元班長 長岡光一
- ◆県知事表彰
▽金条章 第一分団第一部
▽特別功労章 第一分団
副分団長 鈴木鉄男
- ▽功労章 二の四部長長岡公雄、二の一〃長岡稔、三の
- ▽日本消防協会長表彰
▽績章 本部付副分団長
- ▽優良婦人防火協力団体
婦人消防クラブ杉山消火班 岡清
- ▽永年勤続退団者 元部長 小林武司、元先任班長森菊夫、吉田彪、元団員長 岡清





ガン予防の力ギは

早期発見、早期治療

成人の死因の中でガンは第二位で、そのうち胃ガンは約半数を占めています。ガンは昔から不治の病といわれ恐れられていますが、事実、病院などで発見された胃ガンのうち七割は手遅れの状態で、手術しても完治する人は全体の九分の一と低い数字を示しています。しかし、早期発見で手術をすれば、九割は助かるといわれています。

また、全国で胃検診が行われていますが、毎年千人に二人の割合で、胃ガンが発見されています。ガンからわが身を守るためには、何といたっても早期発見、早期治療がもっとも大切といえるでしょう。

現在、朝日町でも胃の集団検診を実施しています。とくに四十歳を過ぎた方は、年に一、二回はすずんで検診をうけるようにしたいものです。

△加藤静代保健婦

▷(株)サンライズ ☎(8)2511
45歳までの女子従業員及び女子内職者を募集中。給与等くわしくは当社まで。

▷(株)朝日相扶製作所 ☎(7)2002
新工場建設に伴い、男子社員10名(年齢不問)及び50歳までの女子社員を若干名募集。またパート協力庭家工場も募集中。くわしくは当社までご相談ください。

◆柔道連盟誕生/
町民武道館がオープン、柔道連盟も誕生し愛好者を募集します。くわしくは教育委員会へ。

◆求人情報

▷(株)磐田電工朝日製作所
25歳～40歳までの女子社員を5名募集。作業内容はカメラ部品の加工。給与その他は面談の上決定会社は宿宮西町バス停より徒歩3分。
☎昼(7)2454・夜(7)2188



情報室

◆西村山支部長表彰

- ▽優良消防部 第三分団第三部
- ▽特別功労団員 第一分団副分団長渡辺金二
- ▽優良消防団員 佐藤吉徳、伊藤正男、宮本建一、佐竹茂美、長岡美智男、志藤勝利、今井賢一、清野恒彦、

◆町長表彰

- ▽優良消防部 一位||第三分団第四部 二位||第二分団第五部 三位||第三分団第三部

東海林利昭、阿部功一、小林貞一郎、伊藤吉正、長岡啓治

▽一般協力団体 婦人消防クラブ 太郎支部

▽消防操法審査会

- 。金賞||一の三自動車、一の三小型、三の二、三の四、銀賞||二の五、一の一自動車、三の三、三の五
- 。銅賞||二の六、一の四、一の六、二の四自動車

路傍の神々

仏たち

⑭

千里鶯鳴いて若草燃える五月。春日の社殿湖面に倒影して正に桃源郷である。八ッ沼口より、つづら折の坂を登ること十分、眼前に展開するのが春日沼である。老杉古松の木の間がくれに春日神社の朱の回廊が春光に映じて一段と美しい。

春日神社の創建は小松文書に次の如く述べられている。「永正元年子年(紀元一五〇四年)原城主湖畔に春日明神を建立し、阿部家代々その別当なり。後年原氏西船渡より若宮寺を現地に移して、原氏代々の菩提寺となせり」

これによれば創建は四七五

年前となり、城主原氏とは五百川城三代原美濃守慶秀のことである。

さらに西村山郡神社誌によれば「原氏代々春日大明神ヲ崇敬セルヲ以テ其臣阿部周防ヲ大和春日神社ニ遣シ分靈ヲ勸請シ始メテ社殿ヲ建ツ天正九年原氏没落ノ後阿部氏自ラ社職トナリ……」と。阿部氏

八ッ沼 春日神社

は永正年間より代々社職となり、延年間よりは、若宮寺住職が神職兼務となつて明治三年一月までつづいている。

祭神は天兒屋根命、武みかづかみ、命外四柱を合祀し西五百川二十ヶ村の総鎮守として明治六年七月村社に列格したが、現在は十三級の社格である。

例祭は幕制時代永らく七月十五日であったが明治になつ

△文・長岡幸助広報委員



戸籍の窓

出生

54年4月1日～4月30日届出

部 落 出生者氏名父名 続柄
 西 町 長岡暢一 啓 五男
 松 原 小関 勉 忠男 長男
 大 滝 佐藤康弘 重喜 三男
 大 森 山 阿部朋子 満弘 二女
 太 郎 一 長岡弘美 孝一 長女
 前 田 沢 成原 知 義治 二女
 大 谷 五 白田理恵 實 長女
 太 郎 一 垂石久美 重雄 長女
 下 菅 沢 土屋昌三 都治 二男
 中 沢 堀 陽子 文雄 長女
 前 田 沢 成原輝彦 勝志 長男
 西 船 渡 海野忠治 忠雄 長男

死亡

54年4月1日～4月30日届出
 部 落 死亡者氏名年齢世帯主

婚姻

54年4月1日～4月30日届出

真 中 宿 大谷四 四ノ沢
 遠 藤 和夫 菅井 美鈴 石塚 正子
 古 槻 大谷五 大 江 町
 清 野 直治 長岡富美子 松原 新平 佐竹恵美子
 大谷四 白田 花子

アッパッおじさん



今年国際児童年

ことしは国際児童年。国連で児童権利宣言が採択されてからちょうど二十年目にあたります。
 これを記念して、子供は民族の宝、世界の宝という認識のもとに、子供たちの幸せについてみんなで考えようという年なのです。とくに中心機関であるユニセフ(国連児童基金)では、開発途上国の恵まれない子供たちの問題解

決に重点をおくことにしています。
 この機会に、私たちも子供たちの世界をもう一度見直し児童問題への関心を高めるとともに、新しい親子関係のあり方などを見出したいものです。



善意の籠
 社会福祉協議会
 に現金贈る

このほど町の社会福祉協議会に対し、朝日町長寿クラブ(佐竹峯松会長)より現金一万七千四百五十円が贈られました。
 これは先に開かれた、民芸品展示即売会の売上げ金の一部を寄贈されたものです。また、山形市の柴田敏夫さんら兄弟一同より「老人福祉のために役立てて下さい」と現金十万円が贈られました。これは大町出身の柴田重蔵さんがこのほど亡くなられ、生前お世話になったお礼にと寄贈されたものです。
 町ではあたたかい善意の心から感謝しています。

母民憲年
 明るい家庭を
 築きます